

重症でも気づかない結核 健康診断で早期発見

結核は、かなり進行し肺の中に空洞ができるまで自分では知らないまま悪くなっていくものです。自分でも気がつかないこの病気を見つけるには、なんとしても、一人残らず健康診断をうけ、早期発見、早期治療につとめることができます。

町では、ことしも6月末より9月下旬までの予定で、満15才以上（学生、勤人、事業場勤務者を除く）のみなさんを対象に、結核健康診断を開始しました。

結核健康診断は、法律によって国民は誰でも毎年一回以上、この診断を受けなければなりません。

昨年は15,898人の該当で受診した者が12,354人、約85%の検査率をおさめました。検査の結果精密検査をうけた者が359名で、そのうちの7割以上が老壯年者であることがわかりました。

以前は青年病とまでいわれた結核が、このように老壯年病として高令層に移りかわったことは、今まで高令層に健康診断をうける機会が少なかったことと、特に老人に未発見の患者が、かなり多かったことが原因です。

このような結果から見て、単に法律で健康診断をうけるよう定められている、というだけなく住民一人一人が豊かな生活環境と、健康で明るい町を築くためにも、どなたも健康診断にご協力ください。レントゲン車の今月の検査実施日割は次のとおりです。

月日	実施地区	場所	人員
7.21	佐久、八重、村子	小松崎守雄宅	151
23	宇治会、小塙	稲見恵一篤民館	509
24	太田	藤岡中戸鶴岡分校	299
25	中戸	中戸鶴岡分校	256
26	鯨岡、小山田、落内	吉生小学	279
27	上根戸、瓜谷、小久保、北郷	正美宅	407
28	小倉、龍田	中島	163



夏に多く発生する病気の予防は、早期受診がいちばんいいです。赤痢や食中毒の多い炎暑の季節がやってきました。「たいしたことはない。食あたりだよ」が何と法定伝染病あります。「私にもうすこし知識があつたら……」と悔やんでもおそいのです。ことしの夏は、あなたもぞうだいじなお子さんも、家じゅう、町じゅうそろって健康で過ごしたいものです。

赤痢は消化器系の伝染病ですので、冬よりは夏に多く発生するもので、防疫対策が年々充実している最近でも、赤痢の耐性、保菌者の分布、集団発生の増加などで、赤痢は法定伝染病のうちでいぜんとして大部分の患者を占める病気なのです。

伝染病の予防は、食品衛生の向上と環境の改善をはかることです。が、ます「きれいな水」「きれいな食物」「きれいな手」に注意して、毎日の生活をおくることが健康の秘けつです。

夏は気温が高くなるためにおこる人間の生理的な変化として、昼は汗をかくことによって大量の水分がはきだされからだも非常に疲れやすくなります。また夜は眠れず、そして食欲はおとろえ、元気もなくなるという食欲不振をともなう栄養素の不足、特にビタミンの不足がおこりがちになります。これをおぎなう食物として野菜や果物類を多くとるとか少量でエネルギーの多い脂肪をとを占めています。

年令別では、二十九歳以下で、二十四才が最高率を示し、〇四才がもっとも低率です。食中毒発生の原因

・消化不良症などの伝染病のうち赤痢がもっとも多く発生しています。赤痢は消化器系の伝染病ですので、冬よりは夏に多く発生するもので、冬よりは夏に多く発生するもので、赤痢の予防は、食品衛生の向上と環境の改善をはかることです。が、ます「きれいな水」「きれいな食物」「きれいな手」に注意して、毎日の生活をおくることが健康の秘けつです。

赤痢は消化器系の伝染病ですので、冬よりは夏に多く発生するもので、赤痢の予防は、食品衛生の向上と環境の改善をはかることです。が、ます「きれいな水」「きれいな食物」「きれいな手」に注意して、毎日の生活をおくることが健康の秘けつです。

夏のためには
健 康 な
知つておきたい夏の衛生

赤痢や食中毒の多い炎暑の季節がやってきました。「たいしたことはない。食あたりだよ」が何と法定伝染病あります。「私にもうすこし知識があつたら……」と悔やんでもおそいのです。ことしの夏は、あなたもぞうだいじなお子さんも、家じゅう、町じゅうそろって健康で過ごしたいものです。

因を食品でみると、「魚介類

とその加工品」によるものが

多く、「肉類とその加工品」

が増加の傾向です。

夏はママの食品などが圧倒

的に多いので、清水でじゅうぶん洗って食べることと、鮮度の悪い食品に注意すること

がかかるんです。

因を食品でみると、「魚介類

とその加工品」によるものが

多く、「肉類とその加工品」

が増加の傾向です。

夏はママの食品などが圧倒

<p

国民年金法更に改善

福祉年金

福祉年金はほとんどの方が

円とします。—昭和三十七年
十月分から適用—

農政活動は農民の手で

農委で町農政活動推進本部

納稅貯蓄組合で
連絡協議会をつくる

川徳太郎、本國度二郎、岡本修三、仁平達雄、鈴木光雄、萩原三雄、真家七之助、大塚恒蔵、高橋芳彦、島田敏雄、

これは、産業界の進展に伴ない、高度の技能者を必要とする分野が非常に拡大されたので、労働者に対し、職業訓練や技能検定を行なって、技能の向上と技能者の養成を行なわれたものです。

この法律によって、公共職業訓練機関が職業訓練指導員を採用され、この法律に基づいて、職業訓練が制定

行なわれたものです。

この法律によれば、

この法律によれば、